

9月1日は防災の日



「防災の日」は関東大震災（1923年9月1日）の教訓を忘れない、という意味と、この時期に多い台風への心構えの意味も含めて1960年に制定されたものです。

《いざという時に》

避難場所の確認や非常持ち出し袋を用意しておきましょう。中身は1人で持ち出せる最低限のものを。また、一年に一度は必ず点検して、電池やミネラルウォーター、缶詰などが古くなっていれば新しいものと交換しましょう。

その他にも、災害直後には持ち出せなくても後々使用できるように3日分の水やインスタント食品を別にストックしておくとう安心です。



《もう一度点検してみよう》

阪神淡路大震災では、家具や家電の転倒による被害も多く報告されています。不安定な家具の固定や、危険なものがないかなど、内外の点検を！

NTTの災害伝言ダイヤル「171」の試用もできます。（毎月1日。9月は1日～5日）

この機会に家族間で「171」の録音・再生をしてみたり、災害時の我が家のルールを話合ってみるのもよいと思います。

お月見

今年のお月見は9月8日

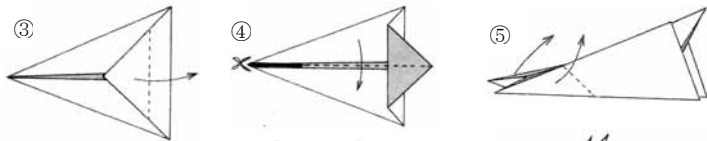
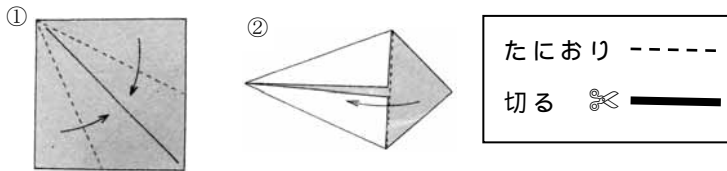
（旧暦の8月15日）

「中秋の名月」です。「十五夜」「芋名月」とも呼ばれます。月見の日には秋の収穫に感謝し、お団子やお餅、ススキ、サトイモなどをお供えして月を眺めます。

親子でお散歩に行つてススキをとり飾つて、秋の澄みわたつた空の明るく美しい月をゆっくり愛でませんか。

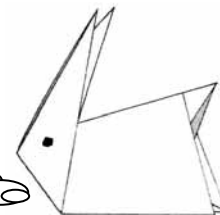


うさぎを折ってみよう～



できあがり！

お月見だんごと一諸にかざってみてね。



お月見だんご

材料 《16～20個分》

- ・だんご粉：200g
- ・水：4分の3カップ
- ・みたらしあん
 - しょうゆ：大さじ3
 - さとう：40g
 - 片栗粉：大さじ1
 - 水：大さじ1



作り方

だんご粉に水を少しずつ加えてよく練り、手でちぎって丸める。熱湯でのだんごをゆでる。浮き上がってきたら水にとってよく水をきり器にもる。

みたらしあんを作る。鍋にしょうゆ、砂糖を入れて温め、水でといた片栗粉でとろみをつける。木べらでまぜてとろりとしてきたら、熱いうちににかける。

きなこや、あんこでも美味しいよ！

おすすめ絵本

『おつきみうさぎ』

中川ひろたか・文
村上康成・絵

